＜取扱説明書の追加事項＞

12ページ　アラームの項目

テレビ音声、AM ラジオ、FM ラジオをアラーム音に設定する場合は、あらかじめ放送局を受信しておいてください。

保証書　持込修理 無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障及び損傷
 (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
 (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛り等による故障及び損傷
 (ニ) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
 (ホ) 本書のご提示がない場合
 (ヘ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合（但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。）
 (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
 (チ) 一般家庭用以外（例:業務用、または業務用に準ずる使用方法）で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居等で本保証書に記入のお買上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	TV/AM/FM ポータブルラジオ			★お買い上げ日：　　年　　月　　日
型　番	RAD-TV12M	品　番	07-9730	保証期間：本体1年間（お買い上げの日から）
お客様	★お名前　　様			
	★ご住所　〒			
	電話　（　　）			
修理メモ				
販売店	★住所　店名　電話			印

見本

（注）★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM　株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは **お客様相談室** へ
●通話料無料 0120-963-006　●携帯・IP・公衆電話からは 048-992-2735
電話受付　平日 9：00〜17：30　土曜 9：00〜17：00
日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は **修理ご相談センターへ**
電話受付　048-992-3970　平日 9：00〜17：00
土・日・祝日及び年末年始は除きます

07-9730A

AudioComm®

取扱説明書　保証書付

TV/AM/FMポータブルラジオ

型番： RAD-TV12M

このたびは、AudioComm® TV/AM/FMポータブルラジオをお買い上げいただき誠にありがとうございました。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。**“この取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全にご使用ください。”** また、お読みになった後も、ご使用時にいつでも見られるよう大切に保管してください。

目次

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

●弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
●本製品によって生じたデータの消失または破損
●本製品のために費やした時間及び経費
●本製品を運用した結果もたらされた損害
●本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
●本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

	△記号は、注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。（左図の場合は感電注意が描かれています。）
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。（左図の場合は分解禁止が描かれています。）
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。（左図の場合はACアダプターをコンセントから抜くが描かれています。）

⚠警告

コンセントから抜く

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに本機の電源を切り、必ずACアダプターをコンセントから抜く
●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
●煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。

コンセントから抜く

万一、内部に水などが入った場合は、ACアダプターをコンセントから抜く
●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
●販売店にご連絡ください。

コンセントから抜く

万一、内部に異物が入った場合は、ACアダプターをコンセントから抜く
●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
●販売店にご連絡ください。

分解禁止

本機を分解、修理、改造しない
●火災・感電の原因となります。

禁止

海外では使用しない。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない
●火災の原因となります。
●この機器を使えるのは日本国内のみです。

コードを交換する

ACアダプターのコードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、使用を中止する
●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
●修理をご依頼ください。

水かけ禁止

浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しない
●火災や感電の危険があります。

接触禁止
感電に注意

雷が鳴り始めたら、安全のため本機及びACアダプターに触れない

禁止

表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない
●火災・感電の原因となります。

電池に注意

乾電池は幼児の手の届かないところへ置く。本機から乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が誤って飲み込むことがないようにする
●万一、お子様が飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。

禁止

本機やACアダプターのコードに重いものをのせたり、コードの上に本機をのせない
●コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。

禁止

コードを敷物などで覆わない
●気づかず重いものをのせてしまい、火災・感電の原因となります。

禁止

本製品を使用時は必ず付属のACアダプターを使う。
また、付属のACアダプターは絶対に他の製品には使用しない
●付属のACアダプターは本製品専用です。
●製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。

禁止

ACアダプターのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない
●コードが破損して火災・感電の原因となります。

⚠注意

禁止

調理台や浴室、加湿器のそばなど、湯煙や湿気が当たるような場所に置かない

●火災・感電の原因となることがあります。

禁止

指定以外の乾電池は使用しない。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使わない

●乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない

●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

禁止

濡れた手でACアダプターを抜き差ししない

●感電の原因となることがあります。

禁止

ACアダプターのコードを熱器具に近づけない

●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

ACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らない

●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
●必ずプラグを持って抜いてください。

禁止

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない

●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。

アンテナに注意

持ち運びするときは、アンテナを折り畳む

●伸ばしたまま運ぶとアンテナが引っ掛かったり、当たったりなどしてけがの原因になることがあります。

禁止

ほこりの多い場所に置かない

●火災・感電の原因となることがあります。

コンセントから抜く

移動させるときは、必ずACアダプターをコンセントから抜く

●コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

音量は小さく

電源を入れる前には、音量を最小にする

●突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

音量に注意

ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない

●耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

乾電池の電極性に注意

乾電池は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示通り正しく入れる

●間違えると電池の破裂、液もれにより火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

コンセントから抜く

旅行などで長時間本機を使わないときは、必ず　ACアダプターをコンセントから抜き、乾電池も取り外す

●火災・液もれの原因となることがあります。

コンセントから抜く

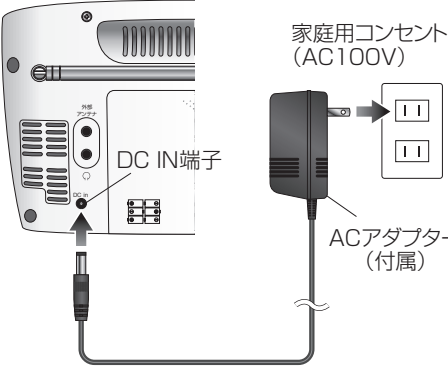
お手入れの際には安全のためACアダプターをコンセントから抜く

●感電の原因となることがあります。

禁止

電磁波を発生させる機器(携帯電話等)に近づけない

●電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。

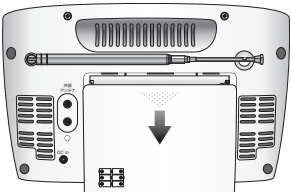
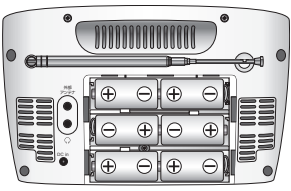
電源について

ACアダプターを抜き差ししたり、乾電池を出し入れするときは、電源が切れた状態で行ってください。

電源を入れる前に音量(ボリューム)を最小にしてください。
突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

家庭用電源で使う場合

付属のACアダプターで本機のDC IN端子と家庭用コンセントを接続します。

◆乾電池が入っている場合でも、ACアダプターを接続すると自動的にAC電源に切り換わります。
◆本機を使用しないときはACアダプターをコンセントから外してください。

背 面

乾電池で使う場合

◆アルカリ乾電池のご使用をお薦めします。
◆電池カバーを外し、乾電池の⊕と⊖を間違えないように、単2形乾電池6本を入れます。

背 面

●背面にある電池カバーをスライドさせて開けます。

単2形乾電池6本使用(別売)

●乾電池の向きを図のように正しく入れてください。コイルばねのあるほうが⊖側です。
●入れ終わったら電池カバーを元どおりにしっかり閉めます。

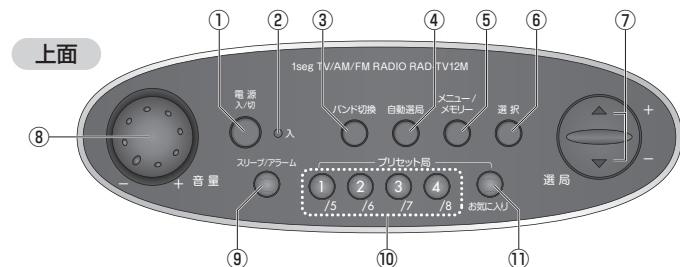
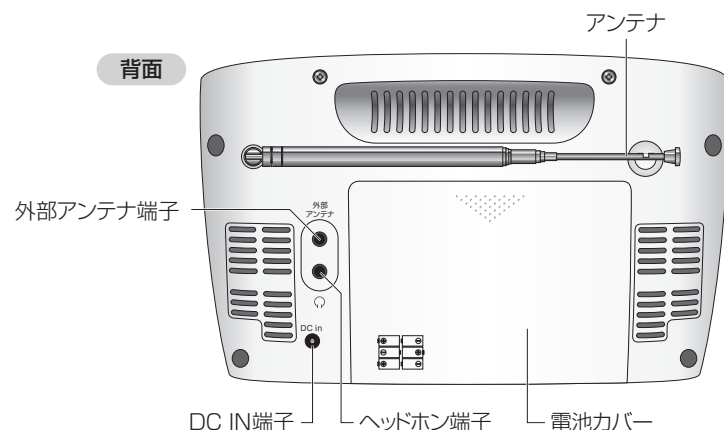
※付属のACアダプターは本製品専用です。本製品をご使用の際には必ず付属のACアダプターをお使いください。また、付属のACアダプターは絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。

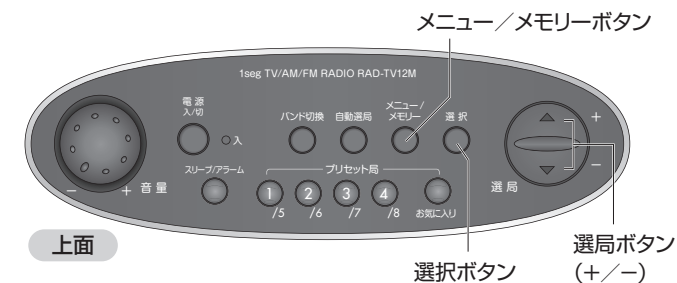
乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂等の事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

⚠警告	・火中への投入、加熱、分解をしない ・ショートさせない
⚠注意	・⊕⊖の表示通りに入れる ・指定以外の乾電池を入れない ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない ・使い切った乾電池はすぐに取り出す ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

●万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
●万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
●使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

各部の名称

①電源ボタン	⑦選局ボタン(＋／−)
②電源ランプ	⑧音量ツマミ
③バンド切換ボタン	⑨スリープ／アラームボタン
④自動選局ボタン	⑩プリセット局ボタン
⑤メニュー／メモリーボタン	⑪お気に入りボタン
⑥選択ボタン	

現在時刻を設定する

TV音声を受信すると、時刻は自動的に設定されます。電波状況等の影響により正常に受信できない場合や自動で設定が行われなかったとき、時刻を修正するときは、以下の方法で操作してください。

電源が切れた状態で操作してください。

❶ メニュー／メモリーボタンを押した後、<TIME/DATE>が表示されているのを確認して、選択ボタンを押す
ボタン操作と同時にディスプレイのバックライトも点灯します。

< TIME/DATE >

▼

12:00 AM
2012-01-01

❷ 選局ボタン(＋／−)で「時」を選び、選択ボタンを押す
本機の時刻表示は12時間表示(午前はAM、午後はPMにて表示)です。
「時」の設定が終わると、「分」表示が点滅します。

08:00 PM
2012-01-01

▼

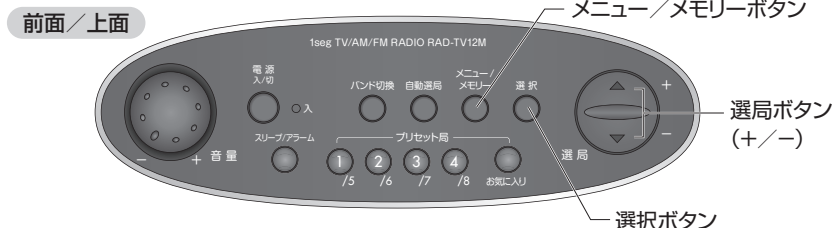
08 :00 PM
2012-01-01

❸ ステップ2と同じ方法で、「分」、「年」、「月」、「日」を順に設定する

08 : 15 PM
2013-02-10

8:15 PM

時刻設定後、選択ボタンを押すと時刻のみの大きな表示に切り換えることもできます。

ディスプレイの明るさを調節する

電源が切れた状態で操作してください。

❶ メニュー／メモリーボタンを押した後、選局ボタン(＋／−)を押して<DIMMER>を選び、選択ボタンを押す
ボタン操作と同時にディスプレイのバックライトも点灯します。

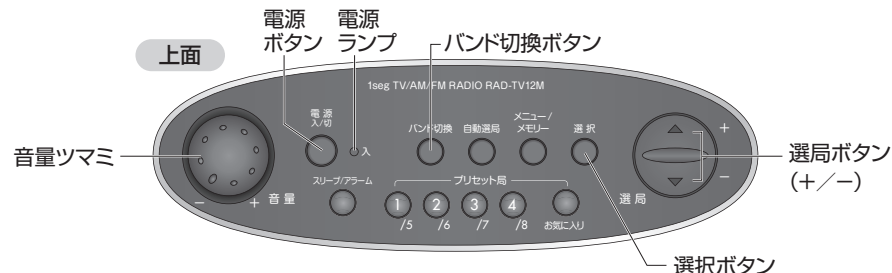
< DIMMER >

❷ 選局ボタン(＋／−)で明るさを選び、選択ボタンを押す
DIMMER1～4までの４段階で調節できます。

< DIMMER 2 >

バックライトは、FM/AM/TVモードでは常に点灯し、電源オフ時は何らかのボタンを押すと約10秒間点灯します。また、ACアダプター使用時には電源が切れた状態でもいちばん暗い状態で点灯します。

ラジオを聴く

AM 放送、FM 放送ともに操作方法は同じです。

❶ 電源ボタンを押して電源を入れる

電源ランプが点灯します。

FM TUNER

❷ バンド切換ボタンを数回押してバンドを切り換える

AM放送を聴くときは<AM TUNER>に、FM放送を聴くときは、<FM TUNER>に合わせます。

AM TUNER ▶ AM 522

受信レベルを表示

ラジオ受信中に選択ボタンを押すと、受信レベル表示と日時表示を切り換えることができます。

❸ 選局ボタン(＋／－)を数回押して、聴きたい放送局に周波数を合わせる

選局ボタンを約１秒間長押しして指を離すと、周波数が自動で送られ、いちばん最初に感知した放送局を受信します。

AM 954

選局ボタン(＋／－)を押すごとに
- ●AM 放送では 9kHz 単位で増減
- ●FM 放送では 0.1MHz 単位で増減

❹ 音量ツマミを回して音量を調節する

周囲の迷惑にならないよう、音量の上げすぎにご注意ください。

❺ 終了するときは電源ボタンを押す

電源ランプが消灯します。

蛍光灯の近くでAMを受信すると、雑音が入ることがあります。このようなときは本機を離してご使用ください。

受信状態をよくするには

●AM放送の受信

本機にアンテナが内蔵されています。本機を動かして最も受信状態の良い向きを見つけてください。室内の場合、窓際のほうが良く受信できます。

●FM放送の受信

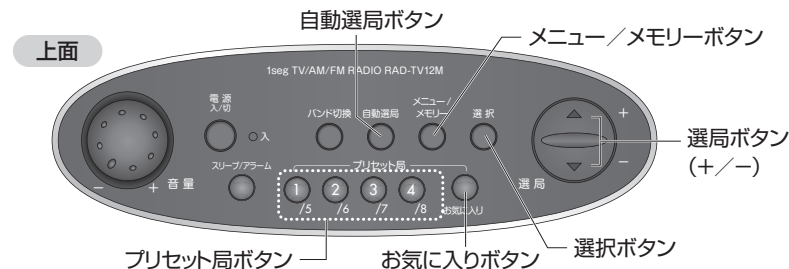
FMロッドアンテナを伸ばし、長さ、方向、角度を変えて受信状態が最も良くなるように調節してください。

※持ち運ぶときは目をついたり危険ですので、アンテナを縮めた状態で持ち運んでください。

プリセット(ラジオ)

自動選局ボタンを長押しすると、周波数を昇順で送り、受信できる放送局を9局まで自動的にプリセットします。

また、よく聴く放送局をお好みでプリセット登録しダイレクトに選局することもできます（AM、FM ごとに、プリセット局ボタン（1/5～4/8の各ボタン）に２局ずつ、お気に入りボタンに１局を登録できます）。お好みでプリセットする場合は、以下の方法で登録してください。

※ただし、すでに任意の放送局がプリセットされている場合、自動選局ボタンを長押しするとそれまでの登録内容が上書きされますのでご注意ください。

❶ プリセット登録したい放送局を受信している状態で、プリセット番号が点滅するまでメニュー／メモリーボタンを長押しする

受信周波数の右横に「P1」(プリセット番号)が点滅表示されます。

❷ プリセット局ボタン(1/5～4/8の各ボタン)またはお気に入りボタンのうち、登録したいボタンを押す

プリセット番号(1～4)に登録したい場合は、1～4の任意のボタンを１回押してください。プリセット番号(5～9)に登録したい場合は、1～4のボタンを２回押してください。ディスプレイ上のプリセット番号が「P1⇆P5」、「P2⇆P6」、「P3⇆P7」、「P4⇆P8」のように変わります。お気に入りボタンは「♥」で表示されます。

❸ メニュー／メモリーボタンまたは選択ボタンを押す＝登録確定

プリセット番号を表示しながら、引き続き聴いている放送局を受信します。

※ステップ２の操作後、しばらくそのままの状態にした場合も自動的に登録が確定します。

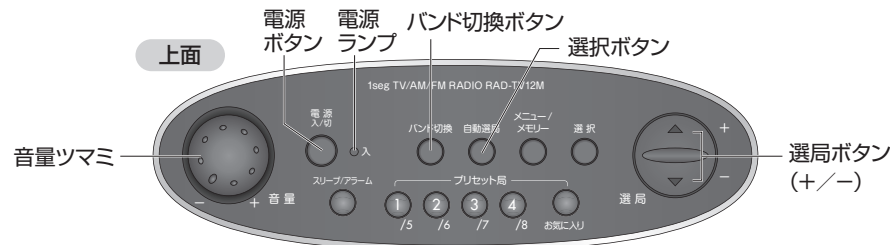
プリセットした放送局を選ぶには

登録したプリセット局ボタンを押します。プリセット番号１～4は各ボタンを１回、プリセット番号5～8は２回押してください。

登録内容を変更するには

新しく登録したい放送局を受信後、上記ステップ１～3と同様の手順で上書きしてください。

ワンセグでテレビの音声を聴く

本機ではワンセグ・テレビ放送の音声をお楽しみいただけます。

❶ 電源ボタンを押して電源を入れる

電源ランプが点灯します。

TV AUDIO

❷ バンド切換ボタンを数回押して「TV AUDIO」に切り換える

初めて「TV AUDIO」に合わせたときは、「SEARCHING」と表示され、チャンネルスキャンが始まります。スキャニングが終わると、チャンネル番号のいちばん小さい放送局を受信します。

021
NO PRESET

受信中の放送局がプリセット局ボタンに登録されていないときは、「NO PRESET」と表示されます。プリセット局に登録する場合は、「プリセット(TV)」(P.10)を参照して操作してください。

受信可能なチャンネルがない場合は「NO SERVICE」と表示されます。本機の場所や向きを変えたあとで、自動選局ボタンを押してみてください(再度チャンネルスキャンが始まります)。

❸ チャンネルを切り換えるときは、選局ボタン(+／−)を押す

ブラウズ設定(チャンネルの切換方法)について

本機ではブラウズ設定により「全局チャンネル(ALL CHANNELS)」と「有効チャンネル(VALID CHANNELS)」の2つからチャンネルの切換方法を選択できます。

●全局チャンネル(ALL CHANNELS)…全チャンネルを1つずつ順に送ります。

●有効チャンネル(VALID CHANNELS)…受信可能な放送局のみを順に送ります。

【ブラウズ設定を切り換えるには】

①メニュー／メモリーボタンを1回押した後、選局ボタン(+／−)で<BROWSE SETTING>を選び、選択ボタンを押す

③選局ボタン(+／−)を押して<ALL CHANNELS>または<VALID CHANNELS>を選び、選択ボタンを押す

CH 26 021
NO PRESET

全局チャンネルの表示例

021
NO PRESET

有効チャンネルの表示例

❹ 音量ツマミを回して音量を調節する

周囲の迷惑にならないよう、音量の上げすぎにご注意ください。

❺ 終了するときは電源ボタンを押す

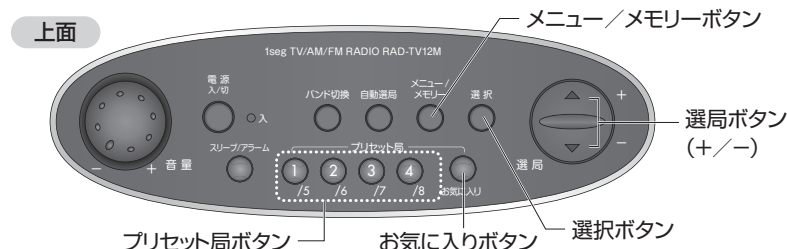
電源ランプが消灯します。

受信中に選択ボタンを押すと、受信レベル表示と日時表示を切り換えることができます。

自動選局

自動選局ボタンを長押しすると、周波数を昇順で送りながら受信できる放送局を9局まで自動的にプリセットします。ご使用になる地域、環境が変わったときにご使用ください。

プリセット(TV)

よく聴く放送局をプリセット登録しておくと、簡単なボタン操作でダイレクトに選局できます。プリセット局ボタン(1/5〜4/8の各ボタン)に2局ずつ、お気に入りボタンに1局を登録できます。

❶ プリセット登録したい放送局を受信している状態で、プリセット番号が点滅するまでメニュー／メモリーボタンを長押しする

受信チャンネルの右横に「P1」(プリセット番号)が点滅表示されます。

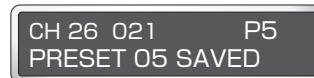
❷ プリセット局ボタン(1/5〜4/8の各ボタン)またはお気に入りボタンのうち、登録したいボタンを押す

プリセット番号(1〜4)に登録したい場合は、1〜4の任意のボタンを1回押してください。プリセット番号(5〜9)に登録したい場合は、1〜4のボタンを2回押してください。ディスプレイ上のプリセット番号が「P1⇆P5」、「P2⇆P6」、「P3⇆P7」、「P4⇆P8」のように変わります。お気に入りボタンは「♥」で表示されます。

プリセット番号が空いているときは「PRESET…FREE」と表示されます。

❸ メニュー／メモリーボタンまたは選択ボタンを押す=登録確定

「PRESET…SAVED」と表示され登録が確定します。

※ステップ2の操作後、しばらくそのままの状態にした場合も自動的に登録が確定します。

CH 26 021 P5
PRESET 05 SAVED

プリセットした放送局を選ぶには

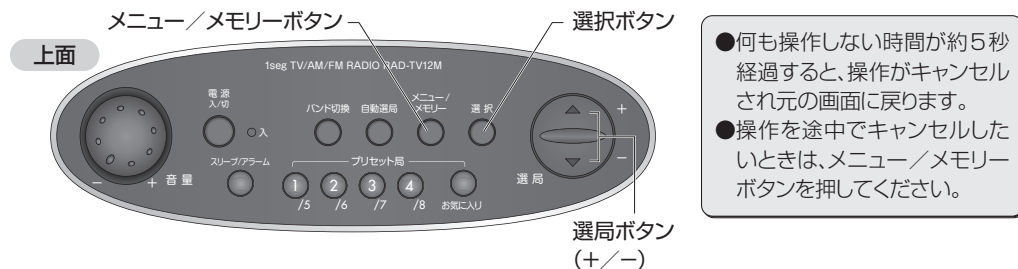
登録したプリセット局ボタンを押します。プリセット番号1〜4は各ボタンを1回、プリセット番号5〜8は2回押してください。

登録内容を変更するには

新しく登録したい放送局を受信後、上記ステップ1〜2と同様の手順で上書きしてください。

ワンセグでテレビの音声を聴く(つづき)

テレビ音声を聴いているときのメニュー設定

●何も操作しない時間が約5秒経過すると、操作がキャンセルされ元の画面に戻ります。
●操作を途中でキャンセルしたいときは、メニュー／メモリーボタンを押してください。

主音声／副音声の切換

多重音声放送の場合は、以下の手順で主音声／副音声の切換ができます。

❶ **放送局を受信している状態で、メニュー／メモリーボタンを１回押した後、選択ボタンを押す**
メニュー／メモリーボタンを押すと「AUDIO SET」と表示されますので、その後選択ボタンを押します。

❷ **選局ボタン(＋／－)を押して、「MAIN(主音声)」、「SUB(副音声)」、または「MAIN+SUB(混合音声)を選んで選択ボタンを押す**

リセット

チャンネルのプリセット局登録をリセットします。リセットするとそれまでのプリセット内容がすべて失われますのでご注意ください。

❶ **放送局を受信している状態で、メニュー／メモリーボタンを１回押す**

❷ **選局ボタン(＋／－)を押して「SYSTEM RESET」を選び、選択ボタンを押す**

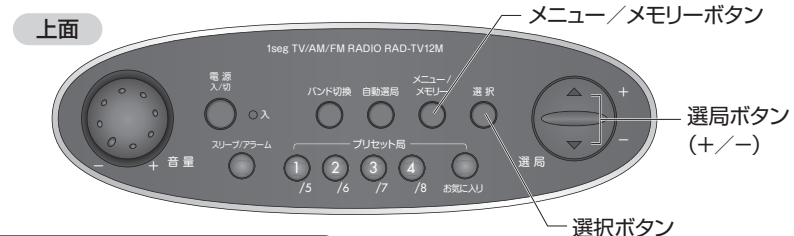
❸ **選局ボタン(＋／－)を押して「YES」に変え、選択ボタンを押す**

WELCOME TO
DIGITAL RADIO

この表示の後、自動で電源が切れます。

ソフトウェアバージョンの表示

上記「リセット」のステップ２で「SW VERSION」を選んで選択ボタンを押すと、搭載されているテレビ受信モジュールのソフトウェアバージョンを約５秒間表示します（その後受信表示に戻ります）。

アラーム

電源が切れた状態で操作してください。

❶ **スリープ／アラームボタンを長押しする**
「ALARM SET」と時刻が表示され、そのうちの「時」表示が点滅します。

❷ **選局ボタン(＋／－)で「時」を選び、スリープ／アラームボタンを押す**
本機の時刻表示は12時間表示(午前はAM、午後はPMにて表示)です。「時」の設定が終わると、「分」表示が点滅します。

❸ **ステップ2と同じ方法で、「分」を設定する**
分を設定後、「ALARM SOURCE」と表示され、現在のアラーム音の設定が表示されます。

❹ **選局ボタン(＋／－)でアラーム音を選び、スリープ／アラームボタンを押す**
「TV AUDIO」(テレビ音声)、「BUZZER」(ブザー音)、「AM TUNER」(AMラジオ)、「FM TUNER」(FMラジオ)から選択できます。
設定が完了すると現在時刻表示に戻り、アラームマークが表示されます。

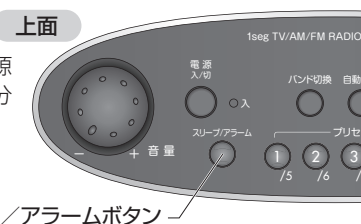
08 : 15 PM
2013-02-10

●**アラーム音がなったら**／電源ボタンを押して本機を終了してください(そのまま聴き続けるときは操作不要)。
●**アラーム設定を解除するには**／ディスプレイにアラームマークが表示されているうちは、同時刻になると毎日アラームが鳴ります。アラーム設定を解除するにはスリープ／アラームボタンを押してアラームマークを消してください。

スリープ

電源が入っている状態で操作してください。

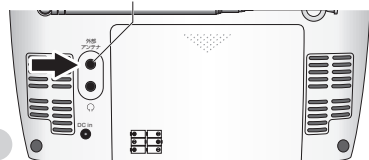
電源が入っているときにスリープ／アラームボタンを押すと、自動で電源が切れるまでの時間を設定できます。押すたびに15分→30分→45分→60分→OFFと表示が変化します。

SLEEP-15

スリープを解除するには、スリープ／アラームボタンを数回押して「SLEEP-OFF」を選ぶか、電源ボタンを押して電源を切ります。

ヘッドホンで聴くときは

●別売のステレオヘッドホン(φ3.5mmステレオミニプラグ)を本機背面のヘッドホン端子につなぎます。ヘッドホンをつなぐと、スピーカーからの音は聴こえなくなります。
●ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。
●家庭用コンセントでご使用時、ヘッドホンでお聴きになると、ハム音(ラジオなどの音声に混じって聴こえる「ブーン」という音)が耳障りになることがあります。その場合は、乾電池にてご使用になられるようお願いいたします。

外部アンテナを接続する

受信状態が良くないときなどは、外部アンテナ(別売)を利用すると改善されることがあります。φ3.5mmプラグタイプのアンテナを本背面の外部アンテナ端子に接続してください。

外部アンテナ端子とヘッドホン端子の接続間違いに十分ご注意ください。

お手入れのしかた

※お手入れの前には、あらかじめ電源コードや乾電池を外し、誤って電源が入らないようにしてから行なってください。

●キャビネットや操作ボタンなどが汚れたら、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後に乾拭きをしてください。
●ACアダプターのプラグにほこりがたまると、発火する危険があります。プラグをコンセントから抜いて時々清掃してください。
●シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。

故障かなと思ったら

症　状	チェック項目
電源が入らない	○電源コードが外れて(ゆるんで)いませんか。 ○乾電池は正しく入っていますか。 ○乾電池が消耗していませんか。
音が出ない	○音量が最小になっていませんか。 ○ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれていませんか。
ラジオに雑音が入る	○近くで携帯電話を使用していませんか。 ○蛍光灯の近くでAM放送を受信すると雑音が入ることがあります。本機を離してご使用ください。

主な仕様

電　源	DC 9V(単2形乾電池×6本／別売)
	外部電源：7.5V 900mA(ACアダプター付属)
実用最大出力	500mW
出力端子	ヘッドホン端子…φ3.5mmステレオミニジャック
スピーカー	口径77mm×1
受信周波数	FM：76～90 MHz
	AM：522～1629 kHz
	TV：UHF 13ch～62ch
アンテナ	FM：ロッドアンテナ
	AM：内蔵フェライトバーアンテナ
	TV：ロッドアンテナ
外形寸法	幅238×高さ144×奥行83mm (突起物含まず)
質　　量	約600g(乾電池含まず)
乾電池での連続使用時間の目安 アルカリ乾電池使用(音量：中程度)	FMラジオ受信時　約100時間
	AMラジオ受信時　約140時間
	テレビ音声受信時　約50時間
付属品	ACアダプター、取扱説明書(保証書)

※乾電池での連続使用時間の目安は、乾電池の種類や使用状況によって異なります。
※本製品の仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。また本取扱説明書で使用する図版は、実際の機種と一部外観が異なっている場合があります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは
修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。